

早いもので入園して1か月が経ちました。初日のクラス懇談会では保護者の方の側で安心して遊んでいた子どもたちも、受け入れ保育を進める中で保護者の方と離れ不安で泣く姿に、後ろ髪を引かれる思いになることもあると思います。次第に、保育者に抱かれたり膝に座ったりすることで泣き止み玩具で遊び始める姿が見られ、今では保育者が側にいるとハイハイやすり這いで室内を探索し、興味のある玩具を手にとって遊ぶ姿も見られています。また、保育者と目が合うとにこっと微笑む姿や、眠たくなると泣いて知らせてくれ、保育者の胸に抱かれてすやすやと眠る姿がとても愛おしいです。まだまだ不安な気持ちはありますが、少しずつ慣れていけるように一人ひとりに合わせて関わっていききたいと思います。

初めての散歩は、バギーに乗って大学構内に行きました。春の心地よい風を感じながら桜の散る様子をじっと見たり、手を振ってくれる学生に微笑みかけたりと顔を左右に動かして景色の移り変わりを楽しんでいました。芝生に座ると、初めての感触に驚いて足を上げ、不思議そうな顔で地面を見つめる子どももいました。これからも園庭や大学の森で自然に触れて遊ぶことを楽しみたいと思います。

5月には3名の新しい友だちが入園します。一人ひとりの生活リズムを大切にしながら1対1での関わりを大切に、安心して過ごせるようにゆったりと関わっていききたいと思います。

進級・入園から1か月が経ちました。子どもたちの表情も徐々に明るく、柔らかくなり、保育者の側で好きな遊びを見つけて安心して遊ぶ姿も見られるようになりました。保育者の顔を見て、指を差したり、ハイタッチをしに来たり、「せんせー」と呼んだり、それぞれの表現で関わろうとする姿が増え、友だちと過ごす中でも一緒に笑い合い、喜びを感じていることが伝わってきます。また、外遊びが大好きなひよこ組の子どもたちは、砂場ではスコップを使ってバケツに砂を入れたり、型抜きをしては崩すことを楽しんだりしています。園庭の外を通る車を見て「ぶーぶー！」と大喜びしたり、飛行機が見えると指を差したり、それぞれのペースで新しい環境に少しずつ慣れてきています。

5月はアリやダンゴムシなどの虫や、季節の花との出会いが楽しい時期です。子どもたちと虫探しをしたり、タンポポやシロツメクサを見つけたりしてたくさんの春に触れ、子どもたちとともに発見を喜んでいききたいと思います。大学の森への散歩も友だちと手をつないだり、避難車に乗ったりして行きたいと思います。また、保育室ではシール貼りやなぐり描きなど指先を使った遊びも楽しんでいききたいと思います。これからも一人ひとりが安心して過ごせるように、ゆったりと関わる時間を大切にしていきたいと思います。

進級・入園から1か月が経ち、りす組の環境や生活リズムにも少しずつ慣れてきました。オレンジの帽子を喜んで被って戸外や散歩に出かけ、友だちや保育者と一緒に“むっくりくまさん”や追いかっこ、虫探しや草花摘み、砂場でご飯作りなどをして、毎日元気いっぱい過ごしています。また、クラスの中で2グループに分かれて過ごし、朝の時間はピアノやウクレレに合わせて歌をうたったり、神さまにお祈りをしたり、絵本を見たり、保育者の話を聞いたりして、楽しい時間を過ごしています。

生活面では靴下の着脱、パジャマの着替え等、新しいことも増え、保育者と一緒に確認しながら意欲的に取り組んでいます。「ここをもって帽子をかぶってごらん」「2つのおててで靴下を持って引っ張れるかな」など、何をどうすればいいのか具体的な言葉をかけながら手を添えて援助しています。子どものやってみようとする気持ちを大切にしながら、難しい部分はさりげなく援助をし、自分でできた喜びが感じられるようにしていきたいと思います。

今月は、初めてのりを使った制作をします。指先につけるのりの量は「ダンゴムシくらいだよ」と子どもたちに伝え、色とりどりの段ボール片にのりをつけて、傘の台紙に思い思いの表現しながら貼っていくことを楽しんでいききたいと思います。

また、子どもたちと一緒にミニトマトやピーマンの夏野菜を育てます。神さまが与えてくださるいのちを大切にして、毎日水をあげてお世話をし、みんなで生長を楽しみに見守っていききたいと思います。

保育室にあるおもちゃの木琴をAくんが叩いていると、Bくんが「あー」「おー」と喃語を発し、側にいたCちゃんがマラカスを鳴らし始めました。偶然が重なって子どもたちの合奏が始まり、とても賑やかな時間となりました。歌や音、リズムに心を動かし、保育者が歌うと顔をじーっと覗き込んだり、ぴたっと泣き止んだりする子どもたちです。

これからもわらべうたや童謡に触れて遊ぶことが楽しみです。

ブロックで遊んでいたAちゃんとBくん。Bくんが赤いブロックを持って「いちご！」と言うと、それを見たAちゃんも赤いブロックを探し出して、「いちご！」保育者が「一緒だね」と言うと、AちゃんとBくんが顔を見合わせて「いっしょ！」と言って笑い合う姿がとてもほほえましかったです。

戸外遊びでのこと…

AちゃんとBくんが、じっとしたまま動かない小さなクモを見つけて、

Aちゃん「ムイムイいるね」

Bくん「ちっちゃいね」

Aちゃん「ムイムイかわいいね〜」

Bくん「かわいいね〜」と、

2人でしばらくクモの様子を見つめ、笑い合って話す姿にほっこりしました。

子ども同士のやりとりの中で喜びや楽しさを共有するひと時を大切に见守っていききたいと思います。